



2020年8月26日

各 位

会 社 名 水道機工株式会社
代 表 者 代表取締役社長 角川 政信
(コード番号 6403)
問合せ先責任者 取締役管理部門担当 石井 克昌
(TEL 03-3426-2131)

営業外費用ならびに特別損失計上および2020年3月期通期連結業績予想数値と
実績値との差異に関するお知らせ

当社は、持分法適用関連会社である在サウジアラビア国の **Suido Kiko Middle East** (以下、**SKME** 社) に係る、**2019** 年度業績、財務状況ならびに新型コロナウイルス感染拡大等で不透明となる事業環境を踏まえ、同社への投資ならびに融資に関し、下記の通り **2019** 年度連結決算および個別決算において損失計上を行いましたので、お知らせいたします。

また、**2020** 年 **2** 月 **6** 日に公表いたしました通期連結業績予想数値と、本日公表の実績におきまして差異が生じたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 発生事実の概要

当社は、**SKME** 社への投資ならびに融資に関して合理的見積りに基づき回収可能性を慎重に検討した結果、回収は困難と判断し、個別決算において、特別損失として関係会社出資金評価損 **9** 億 **33** 百万円、関係会社事業損失 **87** 百万円および貸倒引当金繰入額 **13** 億 **12** 百万円を計上いたしました。また、連結決算において、営業外費用として持分法による投資損失 **11** 億 **72** 百万円 (第 **3** 四半期までに発生 of 持分法による投資損失を含む。) ならびに特別損失として関係会社事業損失 **87** 百万円、貸倒引当金繰入額 **13** 億 **12** 百万円を計上いたしました。

2. 発生の理由

当社は、これまで **SKME** 社への投資を通じ、サウジアラビア国における水処理設備の設計・建設・納入により海外水処理事業の拡大を進めて参りました。しかし、長期化する原油価格低迷と新型コロナウイルス感染拡大の影響により同国の財政・経済は、先行きが非常に不透明な状況にあることから、**SKME** 社の主要顧客の発注工事における回収リスクの一層の増大に直面しております。

特に、**2019** 年度においては、**SKME** 社では手持ち工事案件での追加・手直し工事の発生および施工遅延によるコスト増加に加え、サウジアラビア国内での物価上昇に伴う工事費高騰により、全ての手持ち工事案件での採算が悪化しました。さらに、顧客からの入金遅延が長期化している滞留債権に対する貸倒引当金計上に伴い、同社は、**2019** 年度決算において多額の損失を計上することとなりました。

このため、当社では、このような状況を踏まえ、当社連結決算および個別決算における営業外費用ならびに特別損失を計上いたしました。

3. 業績への影響

連結決算への影響につきましては、本日公表の「**2020** 年 **3** 月期 決算短信[日本基準](連結)」に記載の通りとなります。

4. 今後の見通し

当社は、今後現地パートナーと株主間契約の見直し等を含めてリスクの極小化に向けた協議を行ってまいります。

5. 2020年3月期連結業績予想と実績との差異

(2019年4月1日～2020年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	22,000	1,350	1,330	850	198円20銭
実績 (B)	21,035	1,280	53	△1,725	△402円38銭
増減額 (B-A)	△965	△70	△1,277	△2,575	—
増減率 (%)	△4.4%	△5.1%	△96.0%	—	—
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	18,296	1,055	910	589	137円39銭

6. 業績予想との差異理由

経常利益については、前記「1. 発生事実の概要」に記載の通り、営業外費用として持分法による投資損失11億72百万円を計上したことにより前回発表予想を下回りました。また、親会社株主に帰属する当期純利益についても、前記「1. 発生事実の概要」に記載の通り、経常利益での差異要因に加え特別損失として関係会社事業損失87百万円、貸倒引当金繰入額13億12百万円を計上したことにより、前回発表予想を下回りました。

以上